

公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム

I. 目的：

一般目標：

公衆衛生活動・研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標:以下の10項目が理解できる。

1. 活動・研究計画書の構成を理解し、自身で作成できる
活動・研究計画の概要、活動・研究目的、対象者選択基準、
活動・研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の
手順、倫理的事項、活動・研究中止基準など、活動・研究組織
2. 活動・研究計画書の作成に必要な疫学原理を理解できる
疫学研究の考え方、研究デザイン、倫理
3. 活動・研究実施時(後)に起こる問題・限界点を認識できる
バイアス・交絡、一般化可能性
4. 生物統計的な考え方を学習する
統計的推測、推定、95%信頼区間、検定の原理、標本数の設定
5. 基本的な検定手法を学習する
t検定、カイ二乗検定、交絡調整
6. 交絡調整に必要な統計手法の理解できる
層別化、統計モデルを利用した調整
7. SPSS を利用した検定・推定が実際に実行可能である
8. 保健医療分野における論文構成・表現法を学習する
9. 論文作成で起こしがちな誤りについて理解する。
10. 論文で使用する図表を正しく作成できる。

II. 受講対象者：

公衆衛生活動の立案から評価までを行いたい人、および日本公衆衛生雑誌などに論文投稿しようと思っている人

III. 受講者の必要条件：

疫学(公衆衛生学)を学んだ経験がある。Windows が基本的に使用できる。Excel を使うことができる(数値入力、Excel 関数)。

IV. 人数：40名くらい

V. 場所：滋賀医科大学マルチメディアセンター

VI. 日時：8月1日(水)－8月3日(金)

VII. 研修日程

(以下のスケジュールは昨年のものであります。変更する可能性があります)

8月24日(木)

午後

講義・グループ分け

13:00-14:30 研修プログラムの説明、自己紹介

講義1:公衆衛生活動の計画・評価に必要な疫学知識

15:00-16:30 講義2:計画書の企画・論文作成に必要な生物統計手法

17:00-18:30 グループ分けの発表、課題発表(課題は昨年のものであります)

課題1:喫煙介入の評価(介入評価)

課題2:コレステロール低下の健康教室(介入評価)

課題3:高血圧者のプロファイル(断面研究)

課題4: ADL, QOL 調査 (断面研究)

8月25日(金)

午前

ワークショップ

9:00-10:30 ワークショップ (課題に基づいた研究計画の策定)

10:45-12:00 ワークショップ (課題に基づいた研究計画の策定)

午後

発表・SPSS 実習

13:00-14:30 グループ発表・講評

15:00-16:30 SPSS による統計解析実習
(カイ二乗検定、t 検定、推定)

17:00-18:30 カウンセリング

19:00 終了

8月26日(土)

論文の書き方

午前

9:00-10:30 講義3:論文作成法(論理的な表現法とは、投稿のマナー)

10:45-11:50 仮想例による悪い論文の改善法(演習)

12:00 解散

参加講師(予定)

上島弘嗣、岡村智教、喜多義邦、村上義孝、門脇崇、寶澤篤、奥田奈賀子、宮松直美、盛永美保